

別記

【第6回審議会概要（主な意見等）】

2つのテーマに対し、4つのグループに分かれて意見交換を行い、各グループでまとめ、意見発表を行った。【説明略】

（1） 家庭、職場、地域などで固定的な性別役割分担意識を感じることはあるか

- ・家事や育児については年齢層が高くなるほど固定的な考えが強い傾向にある。
- ・若い家庭では比較的感じないことが多い。
- ・家事や育児は女性に対しては当たり前な感じだが、男性がすると「すごい」と受け止め方が異なる。
- ・家事に対しては女性が保守的な部分もある。
- ・育児休暇を取りたがらない男性が多く感じる。
- ・職場の管理職は男性が多い。
- ・お茶出しは女性の仕事となっている。
- ・自治会役員、消防団、自警団は男性が多い。
- ・総会では男性が前、女性が後ろに座る。発言も男性が多い。
- ・地域によっても差があると感じる。

（2） 今後女性が地域に参画するために、どのような仕掛けや啓発が必要か

- ・家事や育児が女性中心となっているため、そこに加えての負担は大きい。まずは家庭内での意識改革が必要。
- ・男女共に自立できる社会を構築していく。
- ・子どもたちへの啓発を行い、小さいころから男女平等の意識を育んでいく。
- ・総会での座席などはあらかじめ場所を設定するなど、男性ばかりが前にこないように工夫することでも解消される。
- ・地域の規約などを改正し、女性が参画しやすい環境を作る。
- ・自治会長は負担が大きいため、周りの人たちが補佐することによって、誰でもできるような環境整備が必要。
- ・女性が自治会役員になろうとしても、周りの男性が否定的な場合がある。このような問題を打破していく必要がある。
- ・教育を受けた人たちが地域へ持ち帰り、還元できるようなシステムを構築できるとよい。
- ・男女共同参画が進んでいるモデル地区を発掘し、良い部分を展開していく。
- ・フォーラムや講演会等は地域の祭りや行事など人が集まる場と連携し、効率よく行うと良い。
- ・育児面のサポートを充実し、若い女性が参画しやすい環境を作る。

以上